

一般社団法人 名古屋林業土木協会会員のCN、GX、生物多様性、DXなどの取組事例

実施主体	大山土木 株式会社			
区分	CN (カーボンニュートラル) 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。 2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする政府目標。	GX (グリーンTRANSフォーメーション) 化石エネルギーを中心とした現在の産業構造・社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換すること。脱炭素化社会を構築しようとする取り組み	NP (ネイチャーポジティブ、生物多様性) 生物多様性の損失を食い止め、反転・回復軌道に乗せること。COP15(2022年)において2030年までに実現することとして設定された国際目標	DX (デジタルTRANSフォーメーション) データとデジタル技術を活用してビジネスモデルを変革し、業務や、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立させること。
	○	○	○	
取組名称	植林事業（森林保全活動）の実施 ～カーボンオフセットの推進の取り組み～			
具体的な取組内容	カーボンオフセット（企業活動における温室効果ガス排出量のうち削減困難な量をほかの場所で実現した排出削減や森林吸収量で埋め合わせること）を推進するため、たかやま林業・建設業協同組合の事業を通じて、令和2年度から高山市一之宮町の山林等3.6haの植林を実施したほか、下刈り等の森林整備を実施している。			
経費	不確定			
効果	・Co2等の削減に取り組み ・環境社会及び地域社会に貢献する企業としての価値向上と企業としての社会的責任の啓発活動 ※ SDGs 7/13に該当			
課題				
備考欄				